

The Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

年次報告書

2015
Annual report

御挨拶

新しい時代の波に乗る



会長 柳澤 厚生
Atsuo Yanagisawa, MD, FJCIT
点滴療法研究会マスターズ・クラブ会長

点滴療法研究会の年次報告書を皆様にお届けできることを嬉しく存じます。

2015年は会員諸氏のご尽力により、私たちは多くの新会員を迎えました。

昨年は点滴療法を始めとするオーソモレキュラー医学や

最先端統合医療に大きな二つの動きがありました。一つは海外における基礎と臨床研究の進歩と遺伝子医学を中心とする新しい検査と治療の台頭、二つ目はこれまで懐疑的な目を向けていた標準治療の医師・歯科医師らがこの分野に目を向け始めたことです。

この時代の潮流を見据え、点滴療法研究会はボードメンバーと協議し、二つの新たな活動を始動します。まず、日本各地の会員による医療情報の交換、医師歯科医師連携の構築、会員相互の交流と懇親を図るため、九州・沖縄地区のフォーラムを2月に福岡で開催、順次全国へ拡大します。二つ目は国内外の最新の点滴・栄養療法・検査を学ぶ機会を提供します。その第一弾として、3月に米国オゾン療法学会 (AAO) と提携する「AAO認定オゾン療法マスタートレーニングコース」を開催します。

点滴療法研究会は会員と共に歩みます。2016年が皆様にとりまして輝かしい一年であることを祈念申し上げます。

代替医療の益々の拡大に期待する



事務局長 上符 正志
Masashi Uwabu, MD
銀座上符メディカルクリニック院長

毎年12月にラスベガスで開催される米国抗加齢医学会に出席していますが、参加人数、演題数、講演項目、展示ブース数、ワークショップ等が少し拡大してい

るようです。特にステムセル関連、ホルモン治療、脳神経代謝関連、運動療法、美容関連が増えています。

日本でもアンチエイジング、デトックス、サプリメント、ホルモンバランス、腸内環境、抗酸化食品、長寿遺伝子検査、代替療法など予防医学に関連する本が次々に刊行されています。これは心と体の最高の健康状態を保つための知識を一般の方がいかに必要としているかの裏付けといえるのかもしれません。

臨床予防医学の目的はただ寿命を延ばすだけの延命医療ではなく、自分の意志で身体を最後まで上手に使いこなすこと、そのお手伝いすることだと思います。自分の健康は家族の健康と同じです。病気は自分だけの問題ではなく、大切な家族の時間を奪い、老化を加速させます。点滴療法研究会の大切な役割はより多くの臨床予防医療の専門家を育成し、最先端の予防医学知識をもっと分かりやすく普及させていくことだと考えています。

海外ボードメンバーより御挨拶

台湾で 点滴療法研究会セミナー開催を望む

劉 輝雄
(台湾)
インペリアルクリニック院長



皆様、新年明けましておめでとうございます。私の専門は消化器科ですが、患者さんのQOL向上、特に「元気で長生き」をモットーに、点滴・サプリメント療法を積極的に日々の診療に取り入れています。海外ボードメンバーとして本会に参加できること、大変光栄に思っております。最新の知見修得、会員の皆様との交流を続けていき、近い将来台湾でもセミナーを開催したいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

親愛なる点滴療法研究会の パイオニア的存在の先生方へ

ニール・リオルダン
(アメリカ)
ステムセル研究所所長



私の父ヒュー・リオルダン医師が生きていれば、日本における高濃度ビタミンC点滴療法の普及に、きっと喜んでいと確信します。

昨年はトロントで開催されたISOM医学会で、私は次世代のオーソモレキュラー療法について講演しました。点滴療法研究会の会員の先生方にお会いできたことを嬉しく思っています。

2016年の点滴療法研究会の会員の先生方が、ますます発展し飛躍していくことを祈願いたします。

ボードメンバー

国内ボードメンバー



会長 柳澤 厚生
点滴療法研究会
マスターズ・クラブ会長



事務局長 上符 正志
銀座上符メディカル
クリニック 院長



阿部 博幸
アベ・腫瘍内科・クリニック
理事長



森 吉臣
赤坂 AA クリニック
院長



水上 治
健康増進クリニック
院長



芝田 乃丞
株式会社スピック
会長



澤登 雅一
三番町こぎげん
クリニック 院長



古山 登隆
自由が丘クリニック
理事長



高島 正広
タカシマメディカルクリニック
院長



平良 茂
ハートフルクリニック
院長



日比野 佐和子
Rサイエンスクリニック広尾
院長



菅野 渉平
IVC 分析センター
指導監督医



新福 泰弘
インベリオクリニック
院長



松山 淳
松山医院
本町 院長

海外ボードメンバー



イリス・バグリ
(アルジェリア)
アルジェリアオーソモレキュラー
医学会会長



バートン・パークソン
(アメリカ)
ニューメキシコ統合医療
センター所長



アイリーン・バーフォード=メイソン
(カナダ)
元トロント総合病院コンナッハ
頭頸がん研究所部長



スティーブン・カーター
(カナダ)
国際オーソモレキュラー
医学会事務局長



ダミアン・ダウニング
(イギリス)
英国環境生物医学会
会長



ジェームズ・グリーンブラット
(アメリカ)
ウォルデン行動医療病院
摂食障害部門部長



ロナルド・ハニハイキ
(アメリカ)
リオルダン・クリニック
所長



スティーブ・ヒッキー
(イギリス)
オーソモレキュラー
医学会編集委員



ジョン・ホッファー
(カナダ)
マギル大学
内科教授



マイケル・ジャンスン
(アメリカ)
米国先端治療会議 ACAM
元会長



トーマス・レヴィ
(アメリカ)
キャピタル統合医療大学
元教授・医師・弁護士・作家



劉 輝雄
(台湾)
インベリアルクリニック
院長



ロベルト・オルティス
(メキシコ)
メキシコオーソモレキュラー
医学会会長



ニール・リオルダン
(アメリカ)
ステムセル研究所
所長



アンドリュー・W・ソウル
(アメリカ)
オーソモレキュラー医学
ニュース編集長



ガート・E・シュートメーカー
(オランダ)
前・国際オーソモレキュラー
医学会会長
医学雑誌 ORTHO 編集長



ウェルマン・シュレーダー
(アメリカ)
サンタフェアレルギー
環境医療センター所長



ブラッドフォード・ウィークス
(アメリカ)
ウィークス・クリニック
院長

国際活動

- 1月 【アルジェリア】アルジェリアオーソモレキュラー医学会（SANMO）に柳澤会長出席
- 4月 【カナダ】第44回「国際オーソモレキュラー医学会」に柳澤会長と会員が出席
- 6月 【フランス】「ビタミンCの奇跡」ドキュメンタリー映画制作のクラウドファンディングがスタート
- 9月 【アメリカ】オゾン療法学会と提携
(2016年日本でのトレーニングコース開催決定)
- 10月 【アメリカ】アメリカ先端療法会議に柳澤会長出席



9月
アメリカの
オゾン療法学会の様子

トピックス

アルジェリアでの活動

□ 国営テレビ生出演と記者会見

柳澤会長が国営放送番組「ボンジュール・アルジェリア」に生出演、オーソモレキュラー医学や高濃度ビタミンC点滴についてインタビューを受けました。その日の午後には報道協会の記者クラブで会見をしました。国際オーソモレキュラー医学会会長、そして日本の点滴療法研究会の会長として紹介され、オーソモレキュラー医学を中心に、ビタミンC点滴によるがん治療、子宮頸がんワクチン副作用の治療、放射線による健康障害に対する予防について話しました。アルジェリアは大統領命令で子宮頸がんワクチンの導入を拒否した国です。柳澤会長の発言は政府の決断を支持したことになります。



国営放送の朝番組「ボンジュール・アルジェリア」に生出演



報道協会の記者クラブで会見

カナダでの活動

□ ビタミン療法のドキュメンタリーフィルム制作

オーソモレキュラー・ニュース・サービス編集長のアンドリュー・ソウル氏がオーソモレキュラー療法をもっと広く国民に伝えようと、ドキュメンタリーフィルムの制作を開始。特に大量のビタミンを投与するメガビタミン療法にフォーカスすることになりました。

今回、ソウル氏はアイルランドの撮影チームを国際オーソモレキュラー医学会に同行させ、インタビュー収録を行いました。柳澤会長もその中の一人として、原発事故による放射線被曝で生じる健康障害をビタミンCが防御することを、福島原発作業員の遺伝子データを示しながら説明しました。他にも点滴療法研究会のボードメンバーで米国からロナルド・ハニハイキ先生、トーマス・レヴィ先生、メキシコのロベルト・オルティス先生が出演。このドキュメンタリー映画は2016年1月に「That Vitamin Movie」というタイトルで公開、DVDの販売がスタートしました。



インタビュー収録の様子



DVD「That Vitamin Movie」

フランスでの活動

□ 奇跡のドキュメンタリー映画を制作するクラウドファンディングがスタート

高濃度ビタミンC点滴で多剤耐性結核菌重症感染から奇跡的に回復した女性のドキュメンタリー映画「ビタミンCの奇跡」"Vitamin C-Unsung Molecule"の資金を集めるクラウドファンディングがフランスでスタートしました。フランス人監督による撮影は世界各地で行われ、ビタミンCの研究者やビタミンCを患者の治療に用いている医師らに焦点を当てた取材をします。出演予定は点滴療法研究会の国際ボードメンバーでもあるイリエス・バグリー氏、ロナルド・ハニハイキ氏、トーマス・レヴィ氏、そして柳澤会長の他にも6人が予定されています。取材の内容はビタミンCによる様々な疾患の治療について、ポリオ、肺炎、被曝、肝炎、薬剤抵抗性菌感染、がんなど多岐にわたります。



出演予定のイリエス・バグリー氏、トーマス・レヴィ氏、柳澤会長



左からクラエム氏(原作者)、ラモス氏(監督)、グロック氏(プロデューサー)

国内での活動

- 1月
 - 11日 「特別ワークショップ」
 - 12日 「ベーシックセミナーⅠ」
 - 29日 統合医療展講演
- 2月
 - 1日 市民講演 in 三重
- 3月
 - 8日 「点滴療法の基本実技講習会（入門編）」
 - 15日 市民講演 in 愛知
 - 22日 「特別セミナー」
- 4月
 - 10～12日 内科学会出展
 - 18日 「ベーシックセミナーⅠ」
 - 19日 「ベーシックセミナーⅡ」「キレーション療法認定医講習会」
- 5月
 - 10日 市民講演 in 福岡
 - 17日 「歯科医師のための点滴療法（ベーシック）」
 - 24日 国際個別化医療学会座長
 - 29～31日 日本抗加齢医学会出展
- 6月
 - 14日 「点滴療法の基本実技講習会（入門編）」
 - 27日 市民講演 in 富山
- 7月
 - 12日 「ベーシックセミナーⅠ」
 - 19日 「スペシャルセミナー」
 - 26日 市民講演 in 鎌倉
- 8月
 - 9日 「歯科医師のための点滴療法（アドバンス）」
- 9月
 - 6日 市民講演 in 長野
 - 13日 「点滴療法の基本実技講習会（入門編）」
 - 27日 市民講演 in 茨城
- 10月
 - 11日 「ベーシックセミナーⅠ」
 - 12日 「ベーシックセミナーⅡ」
 - 17日 国際個別化医療学会講演
 - 18日 市民講演 in 大阪
 - 28日 市民講演 in 長野
- 11月
 - 22日 「高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会」
 - 23日 「特別セミナー」
- 12月
 - 6日 国際医科学研究会講演
 - 20日 「点滴療法の基本実技講習会（入門編）」



3月「基本実技講習会」



4月「ベーシックセミナー」



6月 市民講演 in 富山の様子



10月 市民講演 in 長野の様子



11月「高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会」アイスブレイク

トピックス

1月 ワークショップ

1月11日開催ワークショップは「現場から学ぶ点滴療法の技」をテーマとして10人の会員の先生達の発表がありました。

その内容は内科領域・歯科領域・精神科あるいは美容皮膚科・ホルモン療法・癌治療など様々な点滴療法について発表があり、100人を超える参加者は熱心に耳を傾けていました。

引き続きの新年会はシャンパンタワーで始まり、海外からのビデオメッセージとしてリオルダンクリニックのハニハイキ所長、国際オーソモレキュラー医学会のステイブン・カーター事務局長からのメッセージも届き、皆和気あいあいと交歓されていました。



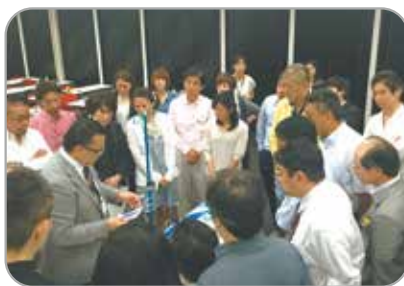
ワークショップの様子



新年会

5月 歯科医師向けベーシックセミナー

5月17日に開催された「歯科医師のための点滴療法ベーシック」においては、統合歯科医療を始めたい歯科医師に対して点滴療法の魅力を伝えるセミナーとなりました。ボードメンバーの新福泰弘先生は歯科領域において、いかに点滴療法が必要であるかということを文献を含め具体的に且つ実践的に話しをされました。また同時にオゾン療法のデモンストレーションを行い、新たな歯科領域の点滴療法の広がり大きな期待が持てるセミナーとなりました。



歯科セミナーの様子



歯科セミナー後の懇親会

7月 スペシャルセミナー

7月19日には海外よりハニハイキ先生(リオルダンクリニック所長)とウィリアム・ショー博士(グレートブレインズ研究所所長)を招聘してスペシャルセミナーを開催しました。ハニハイキ先生は甲状腺機能そしてオゾン療法など様々な観点からがんの治療について解説しました。ウィリアム・ショー博士は代謝療法を中心としてホスホリパーゼA2など様々な代謝療法の検査と治療法について解説しました。正に我々が体験した臨床現場の壁を超えるような重要なお話が溢れていました。

出席された先生からは刺激的な情報を学べたとの声が聞かれました。



ウィリアム・ショー博士



ロナルド・ハニハイキ先生

11月 特別セミナー

11月23日に開催された特別セミナーでは最新の海外学会情報を実践的に学ぶと題してアドレナル・ファティークを本間龍介先生、インスリン増感療法を喜多村邦弘先生・野中一興先生、点滴療法と自費診療のアップデートを松山淳先生よりご講演いただきました。

最新の海外の情報として、特に慢性疲労症候群は臨床に直結するという、まさに私達が聞きかかった内容。インスリン増感療法については最新の海外情報を喜多村先生、野中先生より学びました。

また、柳澤会長からはビタミンCのIVC-PUSH、並びに新しい植物性サプリメントのサルベストロールと、ウクラインについて解説がありました。



片山先生・野中先生・柳澤会長・
ダニエルズご夫妻・喜多村先生



特別セミナーの様子

8月 歯科医師向けアドバンスセミナー

8月9日に「歯科医師のための点滴療法アドバンス」をボードメンバーの新福泰弘先生、スペシャルゲストとしてスペイン口腔外科学会会長のエドワード・カステロン教授を招いて教育セミナーが開催されました。

世界的に広がったインプラント治療ですが、40%の患者は周囲粘膜に炎症を持っており、成功率は高いとは言えません。喫煙や歯周病の既往が周囲歯槽骨の吸収のリスクであることも報告されており、メンテナンスの際に約20%はインプラント周囲炎を発症しています。カステロン教授にはバルセロナ大学式診断法および治療法、そして全身との関連性について最新の知見をご講演頂きました。

そして、新福先生は実際にインプラント治療の様々な状況において、点滴療法を含めた歯科治療並びに予防について最新の臨床データやケースをもとに解説をされました。まさに新しい歯科治療の最新・最先端の内容でした。



新福先生・柳澤会長・エドワード教授



歯科医師向け
アドバンスセミナー懇親会

内科学会・抗加齢医学会出展

点滴療法研究会では多くの医師たちに点滴療法の可能性について伝えるために、2015年度は日本内科学会・日本医学会総会、そして抗加齢医学会に出展いたしました。

徐々に点滴療法研究会の名前が知られてきたおかげか、多くの若い先生たちがブースに立ち寄り熱心にスタッフへ質問をしていました。

日本内科学会においては、以前にはなかった状況を呈し、点滴療法を取り巻く環境が少しずつ変わって来ていることを実感しました。



〈内科学会〉平良先生・柳澤会長・松山先生と



〈抗加齢医学会〉研究会ブースにて

メディア掲載

点滴療法の社会的認知拡大および啓蒙を目的に、メディアを通したPR活動を行っています。「高濃度ビタミンC点滴療法によるがん治療」「グルタチオン点滴療法によるパーキンソン病治療」など、様々なトピックで情報を発信しました。

それに伴い、新聞記事やニュース報道等を見た患者さまからの問合せは、確実に増加しています。

これからも一般世間からの認知を少しずつでも向上させ、点滴療法に関する正しい情報を発信することで、会員クリニックの繁栄に貢献したいと考えています。



産経新聞



日刊ゲンダイ

VC 値上げ事件

2月下旬に米国でマイラン社のビタミンC製剤の価格が3倍に高騰しました。このため米国経由で日本に入荷される製剤の価格が高騰しました。幸運なことに点滴療法研究会が窓口となっているマイラン社アイルランド工場からの直接購入については、マイラン社との交渉の結果、価格を据え置くことで合意しました。これは、これまでの長年にわたって培ってきた、マイラン社と点滴療法研究会との信頼関係によるものだと思います。尚、当分の間、価格については据え置きとなります。安心して高濃度ビタミンC点滴療法を提供できる体制が維持されることとなりました。



マイラン社製ビタミンC製剤

子宮頸がん(HPV)ワクチン副作用の治療法

第44回 国際オーソモレキュラー医学会(トロントにて)

子宮頸がんワクチンは子宮頸がんの予防のために世界的に導入されたワクチンですが、多くの重篤な副作用が出たことが問題となっております。残念ながら、この副作用については医学会・製薬会社において治療法が確立されていません。

これまでの経験で、子宮頸がんワクチンの副作用には高濃度ビタミンC点滴療法、ならびにグルタチオン療法、ビタミン・ミネラル栄養療法が有用であるということが分かりました。

ワクチンの副作用の治療法については、デンマーク・イギリス・アメリカの医学会・医師らと共同で治療法を検討し、第44回国際オーソモレキュラー医学会において、柳澤会長が代表で発表しました。

ワクチン後遺症は、接種後数ヶ月、時には1年以上して発症します。この発症の遅れは、この症状をワクチン接種の副作用と結びつけることを困難にしています。現在、日本では1,200人以上の少女が重篤な副作用例として登録されています。そして、今でも新しい患者が、毎日新規に登録されているのです。

子どもたちのワクチンに対する副作用の症状は、会場に驚きをもたらしました。私達が提唱する治療法についても好意的に受け止められ、医学会発表の終了後にも多くの質問を受けました。

医師は、子宮頸がんワクチン副作用について、気に留めていかなければならないと考えます。子宮頸がんワクチンの、子宮頸がん予防の有効性に対する証拠は全くありません。点滴療法研究会としては、子宮頸がんワクチンの副作用に対する治療法が確立されるまで、接種をできるだけ早期に中止すべきであると考えます。



日本からの参加メンバー・ハニハイキ先生



殿堂入り授与式典の晩餐会



バートン・パークソン先生・柳澤会長・ブライアン・リオルダン氏



ボードメンバーのアンドリュー・ソウル氏、アイリーン・パーフォード＝メイソン先生、ジョン・ホッファー教授も出席されていました



会場のロイヤル・ヨークホテル

国際個別化医療学会にて

10月17日国際個別化医療学会において、柳澤会長が子宮頸がんワクチンの副作用に対する高濃度ビタミンC点滴療法・グルタチオン点滴療法を用いた治療法について発表しました。当会のボードメンバーでもあるダミアン・ダウニング先生(英国環境生物医学会 会長)とクラウス・ハーク先生(デンマーク・オーソモレキュラー医学会 会長)が協同研究者です。最も伝えたいことは、ワクチン副作用に気づいていない少女たちがたくさんいる可能性があること、そして今は子宮頸がんワクチンを打ってはいけないということです。



森下竜一教授



田原崇俊教授

オゾン療法マスタートレーニングコース

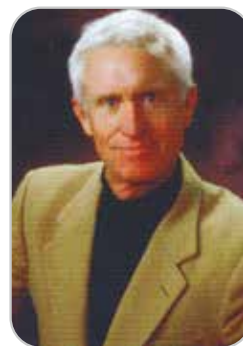
米国オゾン療学会と提携

点滴療法研究会は、米国オゾン療学会(The American Academy of Ozonotherapy, AAO)と提携することで合意しました。米国オゾン療学会は、2010年に設立された米国で唯一オゾン療法に特化した医師・歯科医師・獣医師などの団体で、現在会員は230名。

安全かつ効果的なオゾン療法を通して人々の健康を増進させる活動を行っています。独自のトレーニングプログラムと認定医制度を持ち、北米だけでなく世界中から受講者が集まります。会長はフランク・シャレンバーガー先生で、アメリカにおけるオゾン療法の第一人者です。柳澤会長は2014年10月にシャレンバーガー先生と会い、また2015年9月に米国オゾン療学会のトレーニングプログラムに参加しました。そこで、シャレンバーガー先生より、日本でアジアにおけるトレーニングプログラムの開催を打診されました。



アメリカのトレーニングコースの様子



シャレンバーガー会長



トレーニングコース修了証



日本開催の
トレーニングコースパンフレット

その第1回として、2016年3月20～21日に「米国オゾン療学会認定 オゾン療法マスタートレーニングコース」を開催することとなりました。このトレーニングプログラムは日本のみならず、アジア地区、特に中国・台湾・韓国からの参加者が見込まれています。

会長のフランク・シャレンバーガー先生が来日し、日本からはボードメンバーの森吉臣先生、新福泰弘先生そして柳澤会長の3名のコーディネイトにより、同時通訳で開催されます。

提携により、今回は米国オゾン療学会の公式プログラムとして認定され、認定証並びに専門医(フェロー)の資格がとれます。

アンチエイジングからがん治療まで、広い分野におけるオゾン療法について学べる機会をもつこととなりました。日本におけるオゾン療法の普及に、更なる勢いをつける機会になることを期待します。

事業構想大学院プロジェクト研究

「時代を切り拓く医療ビジネス」をテーマに

2015年4月より事業構想大学院プロジェクト研究がスタートしました。

柳澤会長がプロジェクトコーディネーターとして、16人の医師、歯科医師らがプロジェクト研究員として参加。「時代を切り拓く医療ビジネス」をテーマに、一年間のプログラムが開始されました。

事業構想大学院は、事業を構想することに特化した大学院大学です。事業構想をする際には、事業が作り出す理想の姿を描くことから始まり、自組織や地域・利害関係者の資源を最大活用しながら、持続的に貢献する新しい事業を構想します。またその事業の妥当性の検証や構想の実現に不可欠な経営学やマーケティング、ホスピタ



授業風景



リティやコミュニケーションの方法を学び、社会を切り拓く事業をつくりあげることが目的に本プロジェクト研究は開設されました。新しい自由診療の時代に、研究員の医師・歯科医師の先生方が持っている事業の種を育て、実現させるためのプロジェクトです。

定例研究会には、事業構想大学院ならではのネットワークを活かし、テーマに合わせ、各分野の最先端に行くゲスト講師を招いています。一流のゲスト講師と少人数で語り合うことで、多くの学びとモチベーションの向上につながります。

併せて、会員の浦田クリニック(富山県魚津市)を事業モデルとした一泊研修での施設の視察も実施しました。肌で感じることで、自身に落とし込みやすくしていきます。

このプロジェクト研究は、この時代に不足した、点滴療法を含めた新しい自由診療の活性化に貢献することでしょう。

点滴療法研究会実践セミナー 2016 年 年間予定

マスターズ・クラブ主催の点滴療法実践セミナーは、安全かつ効果的な点滴処方の組み方から料金の設定まで具体的であり、講習を受けた翌日から外来で点滴療法を開始できる内容です。また、幅広い分野の点滴療法の基本から最新のトピックスまで学べるため、初心者の方から実践経験が豊富な熟練者まで満足いただけます。

1月16日(土) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーI

点滴療法の基本「グルタチオン点滴療法」、「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説します。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズクラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&A サポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

1月17日(日) ベルサール三田 (東京)

ワークショップ

点滴療法研究会マスターズ会員医師・歯科医師 10 名による、診療現場での技術・治療・症例などを発表。別会場にて新年会を開催いたします。

2月14日(日) ベルサール三田 (東京)

歯科医師のための点滴療法(ベーシック)

【講師】新福 泰弘先生(医療法人インペリオクリニック 院長)

3月6日(日) スピックサロン・メディカルクリニック
(神奈川県鎌倉市)

点滴療法の基本実技講習会(入門編)「もうはざさない!血管確保の実際」

点滴療法を導入していただくための前準備・セッティング・穿刺・抜針等、基本手技について、充実したオリジナルテキストや静脈模型を使用して実技を学びます。
①採血・点滴の基本知識 ②静脈血採血 ③翼状針・留置針による点滴の実際 ④ビタミンC点滴(25g)の体験 ⑤Q&A

3月20日(日)・21日(月・祝) 秋葉原コンベンションホール
(東京)

米国オゾン療法学会認定 オゾン療法マスタートレーニングコース

点滴療法研究会は米国オゾン療法学会(AAO)と提携。AAO 会長のフランク・シャレンバーガー先生をお招きし、「オゾン療法マスタートレーニングコース」を開催します。アメリカと全く同じトレーニングコースを日本で同時通訳による受講ができます。

【講師】フランク・シャレンバーガー先生(米国オゾン療法学会 会長)
コーディネーター: 森 吉田 先生(赤坂腫瘍内科クリニック 総院長)
柳澤 厚生 先生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
新福 泰弘 先生(インペリオクリニック 院長)

4月17日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーI

点滴療法の基本「グルタチオン点滴療法」、「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説します。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズクラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&A サポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

キレーションセミナー

「ACAM プロトコルによる米国式キレーション療法の実際」

キレーション療法認定医講習・認定医試験

キレーション療法は心臓病や動脈硬化の治療、環境汚染や食品添加物に対するデトックス療法として注目されている点滴療法です。点滴療法研究会ではキレーション療法認定医制度を設けています。4 月に開催される本講習の受講及び所定教材(DVD 付)にて事前学習することにより認定試験を受験できます。

5月15日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーII

ベーシック・セミナーIを学ばれた先生に是非、受講していただきたいセミナーです。Detox・IGG、栄養療法、プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸他、最新の点滴療法を関連する栄養療法と共に深く実践的に学びます。

6月26日(日) スピックサロン・メディカルクリニック
(神奈川県鎌倉市)

点滴療法の基本実技講習会(入門編)「もうはざさない!血管確保の実際」

点滴療法を導入していただくための前準備・セッティング・穿刺・抜針等、基本手技について、充実したオリジナルテキストや静脈模型を使用して実技を学びます。
①採血・点滴の基本知識 ②静脈血採血 ③翼状針・留置針による点滴の実際 ④ビタミンC点滴(25g)の体験 ⑤Q&A

7月10日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーI

点滴療法の基本「グルタチオン点滴療法」、「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説します。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズクラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&A サポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

8月7日(日) ベルサール三田 (東京)

歯科医師のための点滴療法(アドバンス)

【講師】新福 泰弘先生(医療法人インペリオクリニック 院長)

9月4日(日) ベルサール三田 (東京)

特別セミナー

詳細未定

9月25日(日) スピックサロン・メディカルクリニック
(神奈川県鎌倉市)

点滴療法の基本実技講習会(入門編)「もうはざさない!血管確保の実際」

点滴療法を導入していただくための前準備・セッティング・穿刺・抜針等、基本手技について、充実したオリジナルテキストや静脈模型を使用して実技を学びます。
①採血・点滴の基本知識 ②静脈血採血 ③翼状針・留置針による点滴の実際 ④ビタミンC点滴(25g)の体験 ⑤Q&A

10月22日(土) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーI

点滴療法の基本「グルタチオン点滴療法」、「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説します。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズクラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&A サポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

10月23日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーII

ベーシック・セミナーIを学ばれた先生に是非、受講していただきたいセミナーです。Detox・IGG、栄養療法、プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸他、最新の点滴療法を関連する栄養療法と共に深く実践的に学びます。

11月6日(日) ベルサール三田 (東京)

【会員限定】高濃度ビタミン C 点滴療法認定医講習会

【会員限定】高濃度ビタミン C 点滴療法認定医試験

高濃度ビタミン C 点滴療法は日本中に広く普及しました。一方、見よう見まねの自己流手技でビタミン C 点滴療法を実施する危険なクリニックも存在します。研究会では、真摯に高濃度ビタミン C 点滴療法を学び、正しい方法で患者に提供する為に、高濃度ビタミン C 点滴療法認定医(Master of IVC Therapy)制度を設け、マスターズクラブ会員医師の質の保証をしています。本講習でビタミン C の基礎知識、リオルダン IVC プロトコル、他との併用療法などの大切な基本・応用技術を学びます。

11月27日(日) ベルサール三田 (東京)

特別セミナー

詳細未定

12月11日(日) スピックサロン・メディカルクリニック
(神奈川県鎌倉市)

点滴療法の基本実技講習会(入門編)「もうはざさない!血管確保の実際」

点滴療法を導入していただくための前準備・セッティング・穿刺・抜針等、基本手技について、充実したオリジナルテキストや静脈模型を使用して実技を学びます。
①採血・点滴の基本知識 ②静脈血採血 ③翼状針・留置針による点滴の実際 ④ビタミンC点滴(25g)の体験 ⑤Q&A

協賛企業一覧

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1 アスタリール 株式会社 | 10 株式会社 デトックス |
| 2 有限会社 イホコ | 11 西本貿易 株式会社 ナチュメディカ事業部 |
| 3 ウィスマー研究所 / 株式会社 ウィスマー | 12 日本ダグラスラボラトリーズ 株式会社 |
| 4 株式会社 MSS | 13 株式会社 ビーアンドエス・コーポレーション |
| 5 協和メデックス 株式会社 | 14 株式会社 ピーエス |
| 6 グレートプレインズ ラボラトリー | 15 株式会社 First Health Japan |
| 7 株式会社 ステムズ | 16 プレミアライン 株式会社 |
| 8 株式会社 スピック | 17 株式会社 分子生理化学研究所 |
| 9 有限会社 ディス・インターナショナル | (あいうえお順) |



取扱：点滴療法研究会推奨サプリメント

●リポ・カプセル ビタミンC ●ステム・C・ニュートリション

株式会社スピック 医療事業部

神奈川県鎌倉市小町 2-12-30 BMビル4階 Tel. 0467-23-8161

リポ・カプセル ビタミンC



ステム・C・ニュートリション

点滴療法の効果をより高めるために生まれた 点滴療法研究会推奨サプリメントシリーズ

医療機関で使用するにふさわしい安全で高品質、高配合のサプリメントをご提供します。

お問い合わせ 西本貿易株式会社 ナチュメディカ事業グループ

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング3階 ☎0120-814-585 受付9:00~17:00(土・日・祝日、年末年始を除く) NATUMEDICA



IVC-Series

がん治療における再発と転移、予防への取り組み 循環腫瘍細胞 CTC検査

- がん CTC、CSC に最も殺傷効果があった抗がん剤の報告
- 最も効果があった分子標的剤の報告
- 放射線、温熱治療の可否の報告
- 身体に優しい天然成分の効果判定

問い合わせ

株式会社デトックス 〒102-0085 東京都千代田区六番町 5-18 六番町ステートビル 103 Tel.03-5876-4511 Fax.03-3222-5770 http://www.detox.jp



G6PD迅速測定機器



リボソーマルサプリメント



天然ホルモン剤



非侵襲的検査 (唾液・便・尿・血液)

株式会社First Health Japan 〒153-0064東京都目黒区下目黒5-21-1-105 TEL : 03-5768-7507 info@fhjapan.co.jp

低分子フコイダンで QOL 向上をサポート

海藻由来 多糖類

患者様向け無料モニターを募集してます

株式会社ステムズ 東京都渋谷区恵比寿 4-1-22-7 階

Tel:03-5798-3338 Fax:03-6800-5538 E-mail: info@stem01.com

点滴療法研究会 2015 年 年次報告書

発行者：柳澤 厚生

編集：井出 由美・菅谷 和史

発行：点滴療法研究会事務局 有限会社メディカルリサーチ 21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-11-2 RAYHAUS 花房山Ⅱ201 TEL 03-6277-3318 FAX 03-6277-4004

